

PROFILE



うめわか もとのり 梅若 基徳 【能楽師】



- ◆職種 能楽師、コメンテーター、講師
- ◆資格 二級小型船舶操縦士免許 大型自動二輪免許
講師重要無形文化財総合指定保持者
一般社団法人 日本能楽会会員
公益社団法人 能楽協会会員
一般財団法人 日本伝統芸術文化財団 代表理事
西国三十三所先達
名誉唎酒師酒匠

中世より代々続く梅若家に生まれ、初舞台3歳より舞台活動を始める。

五世梅若吉之丞に師事。関西を中心に東京、名古屋、福岡など日本各地での公演に参加。

海外公演にも多数参加。

2023年スロバキア世界遺産バンスカー・シュチャヴニツアにて日本文化学会議の講演と実演。また、2014年ロサンゼルス公演にて、米国メイフラワー号の奇跡を題材にした新曲能「五月花（メイフラワー）」を作成、上演し「ロサンゼルス名誉市民」に認定された。

日本の伝統芸能としてだけでなく、他の古典邦楽や現代演劇、音楽とのコラボレーションも積極的に模索し、世界に通じる演劇としての評価や、「能楽」の更なる可能性を高めていきたいと考える。

その他、文化庁委嘱伝統文化子ども教室や、和文化教育における高校、大学、教職員研修、市民大学など幅広い年齢層の特別講義やワークショップ、講義を多数つとめ、伝統芸能や文化、能楽の普及・振興に力を注ぐ。

武庫川女子大学オープンカレッジ国文学「日本文学から学ぶ能」、ポートピアホテル「サロン・ド・ポートピア講座」講師。

2017年12月兵庫県西宮市鳴尾町に「西宮能楽堂」を開館、運営。プロジェクターを使い、解り易い解説や字幕付きの能楽公演や古典邦楽だけでなく、洋楽や現代音楽、演劇や朗読の公演や催しも開催。訪日旅行客が多数訪れる、日本の伝統芸能・文化の発信地となっている。

● 実績

(著書)

『能に観る日本人力』BAB出版